

# 令和2年度 指定管理者モニタリング評価結果報告書

【令和2年度】

施設概要	名称	福津市まちおこしセンター
	所在地	福津市津屋崎3丁目17番3号
	設置条例	福津市まちおこしセンター条例
指定管理者	名称	津屋崎地域郷づくり推進協議会
	代表者	御厨忠男
	所在地	福津市津屋崎3丁目17番3号
	指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日
所管	部課名	福津市地域振興部地域振興課観光振興係
	評価期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

## ◎モニタリング項目別の総合評価コメント

### I 業務運営状況(運営状況・利用状況・収支状況)

【運営状況】 新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館やイベント休止などにより、開館日数、開館時間、イベント開催数はともに当初の目標よりも少なくなっている。

【利用状況】 新型コロナウイルス感染症拡大により、来館者数は昨年と比較すると大幅に減少した。(令和元年度:35,429人 令和2年度:20,937人 約40%減) それに伴い、和室や体験スペースなどの使用申請も減少している。展示スペースに関しては、指定管理者による自主事業によって、使用件数は昨年よりも増加している。

【収支状況】 収入については新型コロナウイルス感染症拡大により、喫茶コーナー及び物販の売上は当初の目標値を下回っている。なお、支出についても、臨時休館やイベントの中止などにより、総務費、事業費等の支出は当初の目標値を下回っているため、全体の収支について赤字が出ることなく、黒字となっている。

### II 業務履行状況(基本的事項・執行体制・個人情報保護・緊急時対策等)

【基本的事項】 観光振興・地域活性化施設として、市内の観光、歴史、文化、伝統等を館内に展示し、藍の家等をはじめとする津屋崎千軒周辺の関係者とともに情報交換会を定期的に開催しており、地域との連携が図られている。

【執行体制・対策等】 当該指定管理者において、センター長1名、副センター長1名、事務員5名で運営している。食品衛生責任者、経理担当者をそれぞれ1人配置、個人情報保護の周知徹底等も実践している。

### III 維持管理状況(施設設備の保守点検・備品管理・清掃・警備等)

【施設設備の保守点検】 指定管理者業務仕様書に基づき、消防施設点検や電気保安点検等の保守点検を適切に行っている。

【備品管理】 備品は良好に管理されているが、経年劣化等が見られた際、市に対する報告に遅れが見られた。

【清掃】 指定管理者業務仕様書に基づき、日常の清掃の他に定期清掃も実施し、適切な施設の維持管理を行っている。

【警備等】 別会社と機械警備の委託契約を結び、適切に施設の警備管理を行っている。

【その他】 指定管理者の自主的な工事として、館内電気のLED化工事を行った。

### IV サービス向上への取組状況(運営全般・利用者サービスへの取組)

【運営全般】 情報提供としては、ポスターやチラシ等によりイベント情報を随時告知している。今後は紙媒体だけでなく、デジタル媒体を積極的に利用したPRが求められる。

【利用者サービスへの取組】 来館者の利便性を向上させるため、フリーWiFi設備を設置した。

## ◎モニタリング全般の総合評価コメント

### ◆ 総合評価コメント

津屋崎地域郷づくり推進協議会としての特性を活かし、地域に根差した運営を行っている。また新型コロナウイルス感染症の感染予防対策について、消毒や換気、来館者に対する検温などが徹底されており、清潔・安全に配慮した取り組みができています。なお、コロナ収束後に向けて、観光拠点としてのイベント企画や広報活動も、今後積極的に求められるところである。

### ◆ 今後の業務改善への考え方

新型コロナウイルス感染症拡大により、当初予定していたイベントが続けて中止となり、来館者数も大幅に減少した。そうした中、福津市の観光活性化と地域の活性化に向けて十分な取り組みが出来なかったことはやむを得ないが、今後はウィズコロナ・アフターコロナを見据え、新しい生活様式に基づいた積極的な事業展開に努めていただきたい。

第5 指定管理者モニタリングチェックシート

【令和2年度】

施設概要	名称	福津市まちおこしセンター
	所在地	福津市津屋崎3丁目17番3号
	設置条例	福津市まちおこしセンター条例
指定管理者	名称	津屋崎地域郷づくり推進協議会
	代表者	御厨忠男
	所在地	福津市津屋崎3丁目17番3号
	指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日
所 管	部課名	福津市地域振興部地域振興課観光振興係
	評価期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

I 業務運営状況に対するチェック

(チェックシート①)

I -1. 運営状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント
開館(開場)日数	335	287	
開館(開場)時間	2,766	2,376	
事業開催数	115	83	

I -2. 利用状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント
延べ利用者数	A施設(和室)	1,200	815
	B施設(展示)	18,000	18,458
	C施設(上記以外)	9,600	4,545
	計	28,800	23,818
事業参加者数	A事業(展示)	18,000	18,458
	B事業(自主)	9,000	6,171
	C事業(上記以外)	5,400	1,964
稼働率(平均)	A施設(和室)	30%	25.20%
	B施設(展示)	80%	100.00%
	C施設(上記以外)	80%	100.00%

### I -3. 収支状況

評価項目		事業計画(目標)	事業実績	コメント
利用料金収入	A施設(和室)	40,000	55,700	
	B施設(展示)	30,000	12,500	
	C施設(上記以外)	110,000	102,075	
	計	180,000	170,275	
事業収入	A事業(喫茶)	200,000	180,680	
	B事業(物販)	450,000	387,180	
	C事業(その他)	51,000	191,549	
	計	701,000	759,409	
指定管理料		10,344,000	10,344,000	
その他		663,953	663,953	
収入合計		11,888,953	11,937,637	
人件費		5,755,000	5,643,166	
維持管理費		2,766,000	3,188,209	
総務費		848,000	670,580	
事業費		1,500,000	825,195	
租税公課		150,000	256,700	
予備費		869,953	0	
支出合計		11,888,953	10,583,850	
収支差引		0	1,353,787	

#### I 業務運営状況の総合評価コメント

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けたが、臨時休館や収容人数の制限など迅速な対応がとられた。利用料金収入や事業収入は昨年よりも大きく減少したが、イベント等の自粛によって、事業費の支出が抑えられたため、全体の収支としては黒字となっている。今後はウイズコロナ・アフターコロナを見据えた上で、観光拠点としてのイベント企画や広報活動が積極的に求められるところである。